



水戸市男女平等参画基本条例の啓発と
男女平等参画社会の形成と促進のために

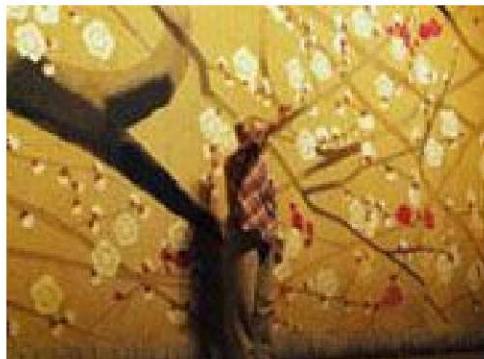
WAVE 第2号

発行日：2010年1月31日
発行：特定非営利活動法人
M·I·T·O 21
〒310-0851 水戸市千波町508-34
発行責任者：黒澤輝子

ヒューマンライフシンポジウム 2009 開催される



2009年9月26日（土）水戸市民会館において
男女平等推進月間事業の最大行事として
脚本家 田渕久美子さんと茨城大学人文学部
准教授 磯田道史さん コーデネーターに
前茨城新聞社会長・主筆 友末忠徳さんを迎えた。
「時代を拓く男と女」～歴史を動かした女性たち～
をテーマに水戸藩開藩四百年・水戸市制120年の歴史を紐ときながら男女の生き方を語っていただきました。



集まった聴衆も引き込まれ ジャンケンポン！！！



市民と行政の協働です

5月30日に開催した池上彰さんの講演会
そうだったのか！講演会「世界地図はひとつではない」から

やっぱり世界地図はひとつじゃなかつた！

人も地図も でも

—ちがいがあって当たり前、みんな地球人—と題して
水戸市民会館入り口でアメリカ、タイ、オーストラリア、韓国、
そして日本の地図を展示しました。
私たちが住む地球はひとつ、しかし地図はその国々の事情によって様々です。その後会員の協力でカナダ、中国の地図を頂きました。今後も地図を通した企画を組んでいく予定です。

「堺から世界へ」 日本女性会議 2009 さかいに参加して

～ジェンダー平等の宇宙へ～ 「日本女性会議 2009 さかい」 平成 21 年 10 月 30 日～31 日に、女性の自立と解放を熱く訴え「山の動く日来る」とうたった与謝野晶子生誕の地で開催された。

初日全体会Cは、赤松良子氏と樋口恵子氏の対談「新しい女性の時代へ～ジェンダー主流化アプローチを作る未来～」である。同郷の先輩「与謝野晶子」をモデルに大阪生まれの赤松氏がどのような影響を受けてきたのか、労働省、国連代表部公使、ウルグアイ特命全権大使を歴任し、婦人少年局長時代には男女雇用機会均等法を成立させ女性差別撤廃条約を批准させた方の話は魅力的だった。

樋口恵子氏は、高齢社会をよくする女性の会理事長であり、「老人力」「女性力」「祖母力」などの新語を生み、女性であるゆえに受ける差別を実体験してきたことで「女と仕事の未来館」の初代館長や内閣府男女共同参画会議議員、厚生労働省社会保障審議会委員などを歴任。東京大学OGとして両氏は3年先輩後輩である。

東京生まれの樋口氏から赤松氏への質問という形で、(NHKプロジェクトX)「女たちの10年戦争／男女雇用機会均等法誕生」の話を聞きだしてくれた。若かりし頃の心に残る晶子の歌は「劫初より 作りいとなむ 殿堂に われも黄金の 釘ひとつ打つ」と言う。



山本千恵氏は「晶子の生命と愛・人とスケッチ」と題し、「我らの勤労・愛と優美・女性は力の及ぶところ初めて平和の光あらん」をあげ、女性はあくまでも優美に生き切ってこの世界を変えるしかない等の話をされました。

太田 登氏は「晶子における平和思想への希求」題し、共通の幸福となるものは、愛を第一とし、経済・学問・芸術・科学等悉く国境を越えて平等に世界人類の幸福となる性質をもっている等の話をされました。

松平盟子氏は、「晶子が子供たちの中に見い出したもの」と題し、子供との関わりの中で晶子が理想とした男女教育の基本の話をされ、詩人である氏は伝えるにはオーラル（音声と響き）が大切であると話しました。

政権交代で社会の中で見えなかつたものが見えてきたり、言えなかつたことが言え、女性議員が男性票も集めた。

女性が女性を応援しようという機運が出来てきたと言う。樋口氏は大学を卒業し社会に出た時、売れ残りと返品の恐怖があったとの話や、就職しても30歳の女性の定年制や結婚退職が当り前だった時代、妊娠、出産で職場を離れざるを得ない時代に学習研究社の保育関連の部署に配属されて、自分のキャリアが活かせると嬉々として働いたこと、また社会との接点を持つ女性が増えること=出歩く女性が世の中を変えると話された。

昨年までジェンダーバッシングやバックラッシュなど男女共同参画社会の流れを押し戻す力が大きかったが、今回関西空港を利用し、空から大阪へ入ったがそこはまさに世界の堺。ここでは国連女性開発基金（ユニフェム日本事務所）が開設され、国際都市堺から未来社会=宇宙へ向けてジェンダー平等のグローバルスタンダードが広がるのを実感した。

檍崎記

第16分科会

晶子フォーラム

「時代の今に響きあう、晶子の生き方」

この分科会は与謝野晶子の歌や評論集を通して、4人の方の講演を聴きました。

平子恭子氏は「人及び女として」と題し、晶子の生涯の思想哲学「20世紀は男女の世紀でありたい」との思想が今日ようやく社会で実現されつつあることをとおし、彼女が「ジェンダー」に対していかに先覚的・先進的に社会に貢献しようとしていたかが紹介されました。

堺市は晶子生誕100年に沸き市内各所でイベントを企画しており、晶子が性別に関係無く人がその個性と能力を輝かせることのできる男女共同参画社会の実現を叫んでいたことを学び、驚きと感動でいっぱいになりました。私も身近なところから真の平和を目指す男女共同参画社会の構築に努力をしてまいります。大森正子記

むかご収穫体験と料理バイキングに参加して

木内令子



晴天に恵まれた11月8日水戸市飯富町の山芋畑でむかごの収穫作業をした。初めての体験であったので不安を持ちながら出向いた。畑には料理の講師である枝元なほみ先生はすでに来ており、収穫作業が始まっていた。

山芋は地面の下で収穫を待つばかり。むかご(山芋の球芽)は枯葉の下や地面に無数に散らばっており、収穫というより拾う作業である。むかごは「誰かボク達を収穫してくれないかな~」といわんばかりに小さく可愛い顔をしていた。約1時間でたくさんのむかごを収穫し、第2会場びよんどに移動です。

早速参加者は身支度を整え、調理台を囲み料理実習。枝元先生の指導でむかごを利用した料理が次々と出来あがり、2階の会食会場へ料理を運ぶ。

そこには里山をイメージしたテーブルにむかごを中心とした料理が並び、歓声が上りました。

理事長から、水戸の宝さがしとして地域が元気になれるような試みであり、水戸の地域ブランドにつながる事業となればとのあいさつがあり、どの料理も皆が作ることに関わったことで一段と美味しい満足した試食タイムでした。



私たちも枝元先生と一緒にコロコロと可愛いむかごを広めていきたい。いつかむかご料理が食卓に定着する日も夢ではなくなるのではないかと思った。

むかごメニュー

むかごご飯、むかご入り五目おこわ、ゆでむかご
むかご入り中華炒め、むかごと白菜サラダ、
むかごのバター炒め、その他鮭飯、漬物など

お世話になった飯富町 鈴木一雄さんとともに

枝元先生から「むかごは現在あまり食べられていないがカリウムやミネラル、食物繊維が豊富に含まれている食品なので、収穫せずに土に埋められてしまうなんてもったいない。2年前からチームむかごを作り、むかご料理を広める活動に取り組んでいる。10年先を目標にむかごを日本の食卓に定着させたい。」と話された。

現在、むかごは生産農家が収穫に積極的ではなく、あまり市販されておらず入手が困難なので、手軽に入手できるよう、むかご販売を支援するイベントなどチームむかごの応援をやっていくのもNPOの活動ではないだろうか。



一年を振り返って

第一回通常総会 4月 25 日開催する



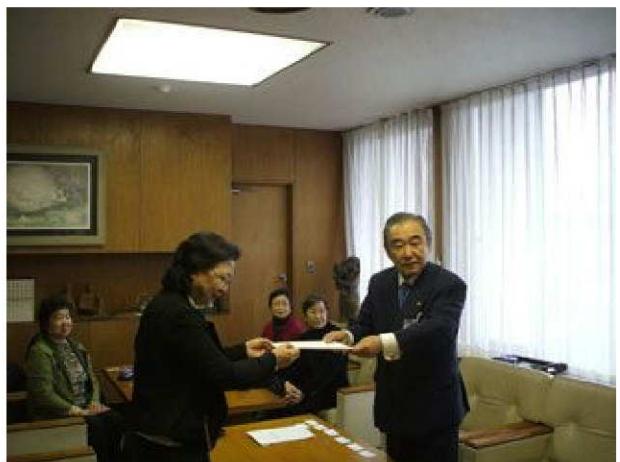
5月 23日春の園遊会



4月 11日黄門さん・青空マーケット
年間9回開催、アイデア、物品
受付中！



5月 30日記念講演会
びよんど 6F 大会議室入口



12月 16日水戸市長へ男女平等参画センター
設置の要望書提出



9月 25日
ヒューマンライフ
シンポジウム
前日準備



○○理事リレーエッセイ○○

時代の変化とともに現代の女性の立場と生活環境は大きく変わってきました。ここ十数年来、女性の社会進出、結婚年齢の上昇、少子化、シングルマザーなど…。しかしどんな時代が変わっても、変わらないものがあると思います。

母と子の絆、そして妻として夫との関係。家庭の中で、社会の中で女性の持つ役割の根源的な部分は不変だと思います。でもこの現代、その役割を見失う方々が増えているのも事実です。およそ女性として何かを見失っていると思われる方が増えていると感じます。

「女性としていかに生き、さらに生きづけるか」もう一度振り返りながら、男女平等参画社会の推進をしましょう。（大森三男）



水戸市制施行 120周年を記念して
水戸市長より男女平等参画社会づくり
に功績にあったと感謝状をいただきました。

編集後記

NPO法人となり事業収入を得ることの難しさをフリーマーケット運営で実感している。昨年より水戸市や近隣の地域おこしの仲間が「桜田門外の変」の映画を支援する活動で頑張っており、千波湖畔では映画のオープンセットが出来上がって、撮影が始まった。「黒澤止幾」の映画化の話もある。私たちもこれに協力していきたいものだ。事務局